



自転車国内販売動向調査月報

平成 20 年 2 月分

この月報は、当協会が実施している全国 100 標準小売店（各車種を一通り取り扱う、従業員が 3 人までの店舗）を調査対象にしている自転車国内販売動向調査の調査結果をとりまとめたものです。全国の自転車販売の基調となる動向を示すものとしてご活用願えれば幸いです。

調査設計： 全国を 9 地域に分け、合計で 100 店舗になるよう各地域に人口、自転車保有台数、自転車店舗数を考慮した調査店舗数を割り当てました。各地域に含まれる都道府県は次のとおりです。
なお調査店舗は年度毎に一部を入れ替えています。そのため対前年比の値は参考値です。

北海道・東北： 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

南関東： 埼玉、千葉、東京、神奈川

北関東： 茨城、栃木、群馬

中部： 山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

北陸： 新潟、富山、石川、福井

近畿： 三重、滋賀、奈良、和歌山

京阪神： 京都、大阪、兵庫

中国・四国： 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

九州： 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

販売： 1店当たり 14.7 台、前月比 15.7% 増

車種別構成比： シティ車 35.2%、ホーム車 34.6%、折りたたみ車 3.1%、子供車 3.1%、幼児車 0.6%、マウンテンバイク 3.1%、スポーツ車 6.2%、電動アシスト車 4.9%（中古車 9.3%）

1. 調査店 1 店舗当たりの販売台数（総合）

[全国 9 地域 店舗： 100]

(平成 20 年 2 月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	1 店 当 たり 販 売 高							
	本 月		前 月		対前月比	前 年 同 月		対前年同月比
	台 数	構成比	台 数	構成比		台 数	構成比	
シティ車	5.7	35.2	3.9	27.9	146.2	7.2	35.8	79.2
ホーム車	5.6	34.6	5.4	38.6	103.7	6.8	33.8	82.4
折りたたみ車	0.5	3.1	0.4	2.9	125.0	0.6	3.0	83.3
子供車	0.5	3.1	0.6	4.3	83.3	1.0	5.0	50.0
幼児車	0.1	0.6	0.2	1.4	50.0	0.3	1.5	33.3
マウンテンバイク	0.5	3.1	0.5	3.6	100.0	0.6	3.0	83.3
スポーツ車	1.0	6.2	0.8	5.7	125.0	0.8	4.0	125.0
電動アシスト車	0.8	4.9	0.9	6.4	88.9	1.1	5.5	72.7
合 計	14.7	90.7	12.7	90.7	115.7	18.3	91.0	80.3
中古車	1.5	9.3	1.3	9.3	115.4	1.8	9.0	83.3
総 合 計	16.2	100.0	14.0	100.0	115.7	20.1	100.0	80.6
モーターバイク	0.5	3.1	0.5	3.6	100.0	0.8	4.0	62.5

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

2. 地域別車種販売台数・比率（1店当たり）

（平成20年2月）

[上段：台数(台) 下段：比率(%)]

車種別 地域(店舗数)	シティ車	ホーム車	折りたたみ車	子供車	幼児車	マウンテンバイク	スポーツ車	電動アシスト車	小計	中古車	合計	モーターバイク
北海道・東北 (15店)	1.7	3.0	0.3	0.1	0.2	0.3	0.5	0.5	6.7	1.3	8.0	0.4
	21.3	37.5	3.8	1.3	2.5	3.8	6.3	6.3	83.8	16.3	100.0	-
北関東 (5店)	9.4	7.2	-	1.6	0.4	0.4	-	0.6	19.6	0.4	20.0	1.2
	47.0	36.0	-	8.0	2.0	2.0	-	3.0	98.0	2.0	100.0	-
関南東 (20店)	3.7	9.4	0.6	0.8	-	0.7	0.8	0.8	16.6	2.3	18.9	0.8
	19.6	49.7	3.2	4.2	-	3.7	4.2	4.2	87.8	12.2	100.0	-
北陸 (7店)	2.6	2.0	0.6	-	-	-	0.7	0.6	6.4	0.6	7.0	0.4
	37.1	28.6	8.6	-	-	-	10.0	8.6	91.4	8.6	100.0	-
中部 (13店)	9.6	6.3	0.2	0.5	0.2	0.5	1.2	0.5	19.1	1.8	20.9	0.1
	45.9	30.1	1.0	2.4	1.0	2.4	5.7	2.4	91.4	8.6	100.0	-
京阪神 (14店)	11.6	9.1	0.9	1.1	0.2	0.7	1.7	2.1	27.4	1.1	28.5	0.9
	40.7	31.9	3.2	3.9	0.7	2.5	6.0	7.4	96.1	3.9	100.0	-
近畿 (6店)	6.3	2.2	-	0.3	-	0.7	0.8	0.5	10.8	1.8	12.7	1.5
	49.6	17.3	-	2.4	-	5.5	6.3	3.9	85.0	14.2	100.0	-
中国・四国 (10店)	4.3	1.6	0.8	-	0.2	0.4	2.0	0.2	9.5	0.8	10.3	0.1
	41.7	15.5	7.8	-	1.9	3.9	19.4	1.9	92.2	7.8	100.0	-
九州 (10店)	3.7	3.4	0.4	0.4	0.1	1.0	1.0	0.6	10.6	2.1	12.7	0.1
	29.1	26.8	3.1	3.1	0.8	7.9	7.9	4.7	83.5	16.5	100.0	-
合計 (100店)	5.7	5.6	0.5	0.5	0.1	0.5	1.0	0.8	14.7	1.5	16.2	0.5
	35.2	34.6	3.1	3.1	0.6	3.1	6.2	4.9	90.7	9.3	100.0	-

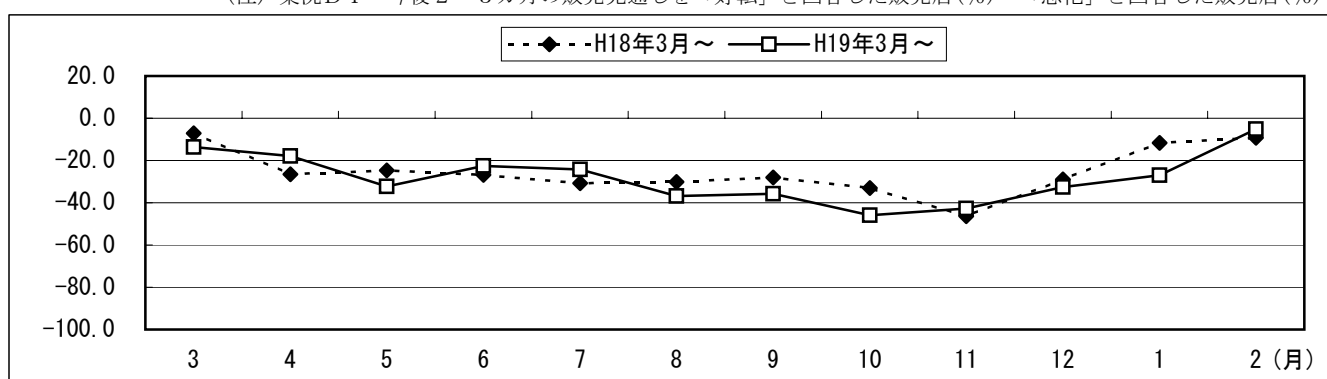
3. 1店当たり車種別仕入・在庫状況

（平成20年2月）

車種別		シティ車	ホーム車	折りたたみ車	子供車	幼児車	マウンテンバイク	スポーツ車	電動アシスト車	合計
仕入	本月(台)	8.4	7.0	0.5	0.5	0.2	0.5	1.1	0.9	19.2
	前月比(%)	121.7	129.6	83.3	71.4	66.7	100.0	91.7	90.0	116.4
	前年同月比(%)	84.8	81.4	100.0	55.6	100.0	71.4	137.5	75.0	83.5
在庫	本月(台)	21.1	15.8	3.3	6.0	3.6	3.8	5.5	2.0	61.1
	前月比(%)	114.1	101.9	97.1	96.8	105.9	100.0	100.0	100.0	104.6
	前年同月比(%)	93.4	98.1	91.7	95.2	94.7	88.4	134.1	105.3	97.6
在庫率	在庫/販売(倍)	3.7	2.8	6.6	12.0	36.0	7.6	5.5	2.5	4.2
仕入：1店当たり 19.2台		在庫：1店当たり 61.1台		在庫率：4.2倍						

4. 業況D Iの推移

(注) 業況D I = 今後2～3カ月の販売見通しを「好転」と回答した販売店(%) - 「悪化」と回答した販売店(%)



5. 自店や他店の動向、消費者ニーズ、メーカー・卸への要望等（抜粋）

平成20年2月

【北海道・東北】

- 自転車修理料金とパーツ価格の見直しを4年ぶりに行った。一番にお客さんに支持される価格の設定にあると思い、近隣(300m以内)のホームセンター、スーパーセンター、スポーツ専門店自転車の修理部門が充実して来ている背景があり少し悩んだが、プライドを持ちローカル価格で実行することになった。(北海道)
- 温暖化と最近いわれるが例年より雪も多い。ただ大雪が降らないので除雪機の販売修理が少ない。1日も早く春になることを望む。(北海道)
- 冬眠中、冬季間整備預かりの自転車も片付いたので、そろそろ店づくりでも始めますか。(北海道)
- 我が家(雪国)にようやく春が来たようです。今年は良い年でありますように。(青森県)

- 3月に向かって準備をしていく時期だが、昨年の実績を上回るように努力したい。余分な在庫は春先の内に処分し、適正な在庫を保っていこうと思う。(青森県)
- ここ数年は春需は3月後半から入学式前日に集中している。3週間程度の短期間にどれだけ売れるかがカギとなっている。(宮城県)
- 値上げが続く最近、本当に物を売りにくい時代になりました。個人商店が生き残るのは、昔ながらの会話をしながら不明な点を解決して不平、不満、不足を満たすことでしょうか。世間で問題になっているクレーマーも個人として対話していることで大きくはならないのでないでしょうか。(宮城県)
- 1月の対前年比upが今月のdownで結局ほぼ同数。今後食品他日用品の値上がりで消費全般の買い控えが春需に影響しないことを願うのみ。入荷の手配はすませているので完売へ向けチラシを用意した。(福島県)
- 雪が少ないけれども寒さがきびしい2月でした。あまりにも寒すぎて来店客も少なかった。自転車は受注車が入荷して組立て整備に追われる毎日でした。今のところ品不足はないけれど3月～4月の最盛期はわかりませんね。自転車店も年々減少していく中ホームセンターとの戦いも激しくなりますが、専門店としてのプライドと意地は貫きたい。修理が多くなっていることも大事にしていきたい。(福島県)

【北関東】

- 自転車卸価格が値上げになっているのに、量販店の安い自転車はちっとも値上げにならない。メーカー車はプライスに合わせていけるが、安い自転車は値上げするのに困ってしまう。(茨城県)
- 通学車の季節、10年ほど前までは販売店同士の戦いだったのが、最近は販売店がほとんどなくなり、スーパーとの戦い。今年は近くに大型チェーン店「あさひ」ができた。3月、4月はどうなるのか？ 近くの小学校を卒業する子供は36人です。(栃木県)

【南関東】

- 年を追って寒さが目に凍みるが今年の2月は例年になく寒いと感じた。やはり10年ぶりに平均気温が低かったようだ。大雪や強風、自転車屋泣かせの日々が続いた。売上げは当然今年の半分、つくづく肌で売上げを推測できる商売だと思った。(千葉県)
- 1月分南関東の店の方の、「弱い立場」なのでしょうか？とありましたが、小売店は特にサービス提供は大切な販売過程だと思いますが、空気入れであっても自店の工具及び技術を提供するのでから無料ではなく、手数料としてきちんと価格を提示する必要があると思います。自転車屋さんには空気入れぐらい、ネジ締め直し、注油ぐらい無料で当たり前と思わせていた店のやり方に問題があると思います(手を汚し多少の時間も要する訳ですから)。全販売店がもっと業界の価値観を上げていけたらと思います。(東京都)
- 最近の量販店の折込みにも何千円の自転車は消えた。何万何千に変わってきた。また街道ぞいに何百台と並べた自転車専門の量販店があちこち見かけるようになった。私たちは1台1台を自分が乗る自転車だと思い、長持ちし安全で気持ちよく乗れるよう心がけて渡し乗っていただければ、また1人1人もどつてくれると確信します。自店の良さを自ら形にすることが大事だと思います。販売も修理方法も一生の勉強だと思います。それと一息も大切だ。家族の皆で一泊旅行でもしませんか。(東京都)
- 2月に入ってすぐ売り場づくりをはじめ、2月の売上げは前年比で120% up。3月4月の主要期に入るのでもめに掃除してきれいであるように心がけるつもりです。(東京都)
- どうなっちゃっているんでしょう？ 2008年新車たちは、パーツが間に合わないとか何とかで、どこのメーカーも品薄もしくは欠品状態。正直、売れるものがないです。これから本格的な春需の前に、この問題が改善されることを強く祈っています。ちなみに2月は過去最悪の月でした。(東京都)
- お客様との会話で最近よく話題となるのが、6月までに施行される「道路交通法の一部を改正する法律」。特に児童・幼児(13歳未満)のヘルメット着用と幼児を前後に乗せた3人乗りの是非に対する関心は高く、販売等に具体的な形で影響を及ぼしてきそうな気がする。(東京都)
- 最悪の2月、寒さもあるだろうが先行きが不安です。今月自転車購入で防犯登録はいらぬと言われ、販売を断った。他の店では売っているのと言われたが、ネットや通販以外で本当に登録なしで売る販売店はあるのか？ 義務化された意味がないな！(東京都)
- 学生の町だけにさすがは2月は静かです。3月も20日過ぎないと商売にならない。各メーカーの値上げがどのようにひびくのか、まだよくわからない。しかし、売上げが下がることに決してあきらめてはいけません。障害者の主人を持つ私には、お客様の会話をとても大切に、存在をとても身近に感じていただくよう努力しております。(神奈川県)

【北 陸】

- 寒さが続き一般車の売行き低調、通学車予約セール分納車でできましたが、家庭用タウンサイクル3月需要期に期待しています。子供車、子供MTBはホームセンターで数百台大量展示のため専門店よりの購入はごくわずかでした。自転車店にかぎらず地方零細小売業の問題は相当深刻の様相を呈しております。バイク利用者も高齢化して、家族より自動車利用を受けておりますので減少の現況です。(新潟県)
- 3月に入るともう通学車の生産を調整し、メーカー在庫がほとんどない状態になるのはどういうことなのか。私たち雪国では3月中旬の高校合格発表から注文が入るというのに。小売店の販売努力が報われないで、ホームセンターの同メーカー品販売に向かわせてしまうということは泣くに泣けない。(新潟県)
- 先月のコメントの中で、東京の小売店の方が「空気入れ」について書いておられましたが、当店の例を書きますと、当店お買上げの自転車の場合「無料」です。量販店及び他店(当店以外の小売店)の場合は、前後入れて100円もらっています。お金をもらえるということになれば腹もちません。ただしお金をもらう場合は、入れる前に「100円かかりますけどいいですか？」と聞いています。もちろん無料で使える手動ポンプは、店の前に置いてあります。ちなみに虫ゴム交換は、空気を入れて1本200円もらっています。もうひとつ、ついでに言えばパンクは「1200円」もらっています(このレポートで全国のパンク代やタイヤチューブ代などを調べればおもしろいし、役に立つと思うのですが…)。(富山県)
- 通学用サイクルの売行きは例年よりも非常に遅れている。いつまでも雪が降るからかもしれない。しかしあまりにも売れない心配です。少子化の影響もあるかもしれないがちょっとおかしいと思う。(福井県)

【中 部】

- 通学車の予約がきていますがカタログだけでもっていき「またきます」というお客様が多かった。(山梨県)
- 2月に入ってからの大雪、週末のたびに吹雪で修理もなかった。気温も低く、春需のスタートはかなり遅れそうだ。ホームセンターのチラシの自転車のスペースが今年は少ないように思う。(長野県)
- 寒い日が続き売上げが上がらなかった。最近TVで自転車が悪者的な報道が目につきますがそういうのもあって買い控えがあるのかな?とも思ってしまいます。3月の売出しに向けて気合を入れたい!(岐阜県)
- 寒かった日が多かったせいか売上げはあまりよくなかった。(愛知県)
- 原付メーカーの電動車が、一発二錠の不具合をマスコミ等に発表、ニュースとして取り上げられた。その同一部品を使用しているB社は沈黙のまま、セールスに問うと、たまたまY社のロット分のみ欠陥だとの回答。この業界は何事も不都合なものを隠す風習があり、ユーザーの声を聞く耳をもっていない。メーカーへの要望を記載してきたが、果たしてこれがメーカーに届いているのか疑問に思う。(愛知県)
- 自転車の仕入れが上がる。タイヤ、オイル、バッテリーも上がる。でもホームセンターの自転車の値は仕入れ以下で売っている。(愛知県)
- ステンレスパーツが高いですね。通学車は2年ほど前から高額車が売れるようになりましたが、アルベルトロイヤル、ロココロイヤル…メーカー在庫がありません。(愛知県)

【京阪神】

- 販売は最悪でしたが、修理の方が忙しく首の皮一枚でつながっております(笑)。(京都府)
- 前年度に比べ通学車の値が3000円upしています。昨年は5万円台の通学車がよく出たのですが、今年は6万近くなるのであまり出ませんでしたが、今月も目玉商品を載せたチラシを出したところ、お客様はやはりわかりやすく、前年より多くの方が来店してくれました。意外に自分の目で商品を見て頂けると、安い物ではなく高い物を買って帰られます。やはり店に来てもらわないとダメというのがよくわかりました。さあ、3月もチラシ出してもうひと頑張りしたいです。ホームセンターには負けません!(京都府)
- 2月電動車5台納車がありました。近くにマンション新入居も始まり、これから期待しています。折込み3月の原稿の作成にかかっています。電動車のウエイトはますます大きくなります。(大阪府)

【近 畿】

- 今月は修理も少なく、春需というのに通学車の動きが悪い。B社のアルベルトが強いが、他社メーカーの動きに期待している。時々売れる高価なロードレーサーが入荷して販売したが、2台セットの仕入れで1台が在庫となる。展示車が増えるが何時売れるか!メーカーの方針だから仕方がないか?(三重県)
- 2月は毎週末の大雪で、来店客、納車ともに遅れている。3月はぜひ好天(転)を祈り挽回したい。メーカー車(中国製)の箱出荷の荷あれ、キズ入が多い。(滋賀県)
- 例年になく低気温日の連続による利用控えで営業収益は予想以上に低いが、冬期営業時間(9:00~17:00)の設定をお客様に訴え協力を得た結果、減収でも自由時間を得ることができ大変充実感を体験しました。パパママストアとしては、時間も収益のうちと考えれば寒さもありがたく感じました。(和歌山県)

【中国・四国】

- お客様の予算は昨年と変わっていないが、メーカー車が5000円くらい値上がりしているの、必然的に1クラス下の車種になりそうな感じ大です。自店では、ここ数年レーサーやMTBが売れていないが、スキルアップのために1台高級車を組んで遅れを取り戻そうとしているが、進化が思ったよりすごく、数年分の学習ができた。(鳥取県)
- 相変わらず悪化という言葉しか出て来ないのが情ない!入・進学の時期ではあるが、地域の子供の数は減少が続き、これも期待がもてない。どこに打開策を求めれば良いのか、思案は続く…。(山口県)
- 2月に入り少々通学車の動きが見られた。しかし3月に入ってから多大な期待はできない。新車販売でお客様の希望に応えるにも限界がある。すべての希望には応えきれないことは明白です。私の店でできること、得意分野は?色々なことに手を出さず、店ですることを選択し、集中していきたい。(徳島県)
- ネット販売ではメーカー車の新商品でも2割引、専門店でも10~15%引が普通。リベートも見込めず不良在庫のリスクも考えると零細店ではとてもそんな値引きはできません。月報を見るたびに、他店はどうなんだろうとすごく気になります。(愛媛県)

【九 州】

- 予想も期待もはずれ放しである。毎日暗い話題ばかりで、人々の顔も何となく済まし込んで、火の消えた商店街に人の影もチラホラ。予約の車も動きが鈍く寒い倉庫にじーっとしている。資金繰りに困る実状である。せっかく上を向き出したスポーツ関係も、商品の流れが悪くて気を揉むばかり、まるでとりつく島もない。またまた勝手なわかりにくい道交法の改正で、自転車はいよいよ何処を走ればよいのか?何もかも止まり放して飯も喰えなくなるよ! 宮崎県知事じゃないが自転車業界も何とかせにゃあいかんばい!!長い日本列島、各地の皆さんのご意見が各々の様子を想像できて面白く、種々参考になります。お互いにありのままを述べあって頑張りましょう!(熊本県)
- 2月は前年並みでしたが、年々お客様の来店がずれ込んでいっているような気がします。1月の地域ごとの新車の台数を見ますと、都市と地方の格差が非常に大きい。京阪神(21.4)に比べて北陸(5.4)、北海道・東北(7.1)、九州(10.0)、都市は地方の2倍から4倍の売上げがあります。地方はより厳しいです。まあそうはいつでも自分の環境で頑張っていくしかありませんね。利より信で頑張っていきます。(大分県)
- 今年に入ってから1、2月平均して昨年比136%ではあるが、前々年度からの落込みに対しての比率だから喜んではいられない。昨年より低価格車を置かなくし、ホームセンター等とのちがいを(品質等)区別し説明するようにしています。5、6千円の中古車は好評です。(宮崎県)
- 1年もあつと過ぎました。お客様もいろいろです。親や子供が家族を殺す世の中です。嘆き節をいわず、お店を始めた頃の気持ちに戻りませんか。ホームセンター購買の修理がきた時等、自分の顔を鏡で見られますか。いらっしゃいませ。ありがとうございます。と大声で話してみてください。自分の気持ちが顔に出ることを忘れず、また1年頑張りましょう。(鹿児島県)

6. 販売動向の特徴(平成20年2月)

(1) 本月の売れ筋の特徴

[単位：％]

価格帯別構成比

車種別 価格帯(円)	シティ車			ホーム車			折りたたみ車			子供車			幼児車			マウンテンバイク			スポーツ車			電動アシスト車		
	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年
10,000円以下	1.8	4.1	2.9	8.3	12.0	12.6	0.0	0.0	5.4	3.9	1.7	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10,001～13,000円	4.7	7.2	3.6	16.6	14.6	11.5	14.3	20.5	12.5	3.9	0.0	0.0	0.0	4.5	27.6	3.7	3.8	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13,001～17,000円	4.7	6.2	5.5	12.8	14.6	20.9	14.3	13.6	12.5	9.8	10.2	7.3	28.6	40.9	34.5	0.0	1.9	0.0	0.0	2.6	1.3	0.0	0.0	0.0
17,001～20,000円	4.6	11.1	6.7	9.2	11.8	10.1	8.2	4.5	8.9	15.7	20.3	24.0	42.9	27.3	31.0	1.9	0.0	1.7	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20,001～23,000円	6.2	6.7	5.2	13.3	8.6	11.6	4.1	13.6	7.1	23.5	22.0	34.4	21.4	27.3	6.9	3.7	3.8	8.6	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
23,001～27,000円	4.9	11.4	8.0	12.6	12.5	11.3	12.2	15.9	23.2	27.5	27.1	28.1	7.1	0.0	0.0	3.7	3.8	8.6	3.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
27,001～30,000円	6.2	9.0	7.9	11.2	8.4	9.1	8.2	0.0	5.4	13.7	11.9	3.1	0.0	0.0	0.0	11.1	5.8	1.7	5.0	3.9	4.0	0.0	0.0	0.0
30,001～33,000円	6.2	5.7	10.0	5.6	5.2	4.4	12.2	4.5	5.4	2.0	5.1	1.0	0.0	0.0	0.0	1.9	5.8	8.6	2.0	2.6	4.0	0.0	0.0	0.0
33,001～37,000円	8.1	11.9	10.1	6.5	8.6	3.4	4.1	0.0	1.8	0.0	1.7	1.0	0.0	0.0	0.0	13.0	3.8	12.1	5.0	3.9	4.0	0.0	0.0	0.0
37,001～40,000円	13.9	8.0	9.7	1.1	1.3	1.0	2.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.3	17.3	3.4	9.0	6.6	6.7	0.0	0.0	0.0
40,001～50,000円	29.7	14.0	18.9	1.8	1.1	1.8	2.0	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	7.7	19.0	11.0	17.1	13.3	0.0	0.0	0.0
50,001～70,000円	9.1	4.7	11.5	1.1	1.1	2.3	4.1	18.2	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.5	15.4	13.8	17.0	22.4	13.3	15.8	14.0	20.9
70,001～100,000円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	2.3	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	5.8	8.6	11.0	7.9	12.0	65.8	69.9	62.7
100,000円以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.2	4.5	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	25.0	12.1	37.0	28.9	41.3	18.4	16.1	16.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

フレームカラー別構成比

車種別 フレームカラー	シティ車			ホーム車			折りたたみ車			子供車			幼児車			マウンテンバイク			スポーツ車			電動アシスト車		
	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年
ブラック系	13.9	9.2	4.1	2.9	4.3	1.3	18.2	29.4	23.1	14.3	3.4	7.5	0.0	7.1	0.0	24.0	26.1	22.6	22.6	36.7	29.4	0.0	2.8	2.3
シルバー系	72.2	70.8	71.6	55.7	47.8	54.7	31.8	11.8	23.1	3.6	6.9	7.5	10.0	0.0	0.0	24.0	17.4	9.7	16.1	10.0	20.6	35.5	38.9	52.3
ホワイト系	5.6	1.5	5.4	4.3	1.4	2.7	13.6	5.9	15.4	0.0	6.9	2.5	0.0	0.0	5.6	8.0	13.0	6.5	16.1	6.7	14.7	3.2	2.8	6.8
ブルー系	2.8	9.2	12.2	15.7	20.3	21.3	4.5	23.5	11.5	57.1	44.8	50.0	10.0	35.7	61.1	4.0	21.7	19.4	19.4	23.3	11.8	25.8	33.3	13.6
パープル系	0.0	0.0	0.0	1.4	4.3	1.3	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
レッド系	2.8	4.6	0.0	10.0	8.7	9.3	18.2	5.9	15.4	7.1	0.0	0.0	30.0	14.3	11.1	16.0	0.0	9.7	9.7	6.7	2.9	6.5	5.6	2.3
グリーン系	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	1.3	9.1	0.0	3.8	0.0	0.0	5.0	10.0	0.0	5.6	4.0	0.0	6.5	3.2	3.3	8.8	16.1	11.1	9.1
イエロー系	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	8.7	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
オレンジ系	0.0	1.5	1.4	2.9	2.9	0.0	0.0	5.9	0.0	3.6	3.4	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	3.2	0.0	0.0
ピンク系	1.4	0.0	1.4	1.4	5.8	2.7	0.0	0.0	0.0	3.6	17.2	7.5	30.0	35.7	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2色以上・その他	1.4	3.1	2.7	2.9	4.3	5.3	0.0	17.6	7.7	7.1	13.8	12.5	0.0	7.1	5.6	20.0	13.0	22.6	12.9	13.3	8.8	9.7	5.6	9.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 今後2～3カ月間の販売見通し

[単位：％]

区分	好転	横ばい	悪化	業況D I
本月	24.0	46.9	29.2	-5.2
前月	11.5	50.0	38.5	-27.0

(注) 業況D I = 「好転」と回答した販売店(%) - 「悪化」と回答した販売店(%)

7. 大型自転車専門店の販売動向の特徴

(平成20年2月度)

※ 年間販売台数が3,000台以上の企業の一部データを集計したものです。

価格帯別構成比

(単位：%)

車種別 価格帯	シティ車		ホーム車		折りたたみ車		子供車		幼児車		マウンテンバイク		スポーツ車		電動アシスト車	
	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月
10,000円以下	6.8	9.5	21.5	22.6	8.3	36.8	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10,001～13,000円	8.5	10.8	15.1	14.1	0.0	0.0	8.9	5.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13,001～17,000円	23.7	23.0	20.8	23.6	0.0	0.0	8.9	18.8	66.7	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17,001～20,000円	10.2	14.9	16.5	12.9	16.7	0.0	15.6	36.3	16.7	27.8	16.7	19.0	7.1	0.0	0.0	0.0
20,001～23,000円	7.6	2.3	3.9	6.0	25.0	5.3	42.2	21.3	8.3	13.9	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
23,001～27,000円	10.2	6.3	4.7	5.8	25.0	21.1	24.4	18.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	10.5	0.0	0.0
27,001～30,000円	8.5	9.0	6.5	6.7	8.3	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
30,001～33,000円	4.2	4.5	6.5	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
33,001～37,000円	3.4	9.0	2.2	0.9	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	28.6	0.0	10.5	0.0	0.0
37,001～40,000円	4.2	4.5	0.4	0.9	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	23.8	14.3	0.0	0.0	0.0
40,001～50,000円	8.5	5.9	1.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	42.9	36.8	0.0	0.0
50,001～70,000円	4.2	0.5	0.7	0.9	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.0	7.1	21.1	0.0	20.8
70,001～100,000円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	5.3	100.0	70.8
100,001円以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	8.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

フレームカラー別構成比

(単位：%)

車種別 フレームカラー	シティ車		ホーム車		折りたたみ車		子供車		幼児車		マウンテンバイク		スポーツ車		電動アシスト車	
	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月	本月	前月
ブラック系	19.5	8.6	8.2	5.3	8.3	0.0	15.6	10.0	8.3	11.1	25.0	28.6	14.3	42.1	0.0	0.0
シルバーク系	34.7	48.2	42.3	46.0	8.3	52.6	6.7	3.8	8.3	2.8	41.7	23.8	0.0	5.3	16.7	25.0
ホワイト系	8.5	2.7	7.9	5.8	41.7	5.3	6.7	3.8	8.3	8.3	8.3	14.3	21.4	5.3	16.7	12.5
ブルー系	16.1	14.9	9.0	12.2	25.0	15.8	53.3	51.3	33.3	27.8	8.3	28.6	42.9	26.3	33.3	4.2
パープル系	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
レッド系	7.6	11.3	15.8	16.6	8.3	10.5	6.7	7.5	8.3	13.9	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	12.5
グリーン系	8.5	6.3	6.5	2.1	8.3	10.5	6.7	5.0	0.0	0.0	0.0	4.8	7.1	5.3	0.0	16.7
イエロー系	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	8.3
オレンジ系	2.5	0.9	2.9	2.5	0.0	0.0	0.0	7.5	8.3	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ピンク系	0.8	0.9	2.9	3.0	0.0	5.3	2.2	11.3	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2色以上・その他	1.7	6.3	3.6	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	16.7	0.0	14.3	5.3	33.3	20.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0